

取扱説明書

駐車監視・直接配線ユニット

DROP-012

DC-DR501/511 の駐車監視機能を使用する場合は裏面をご確認ください。

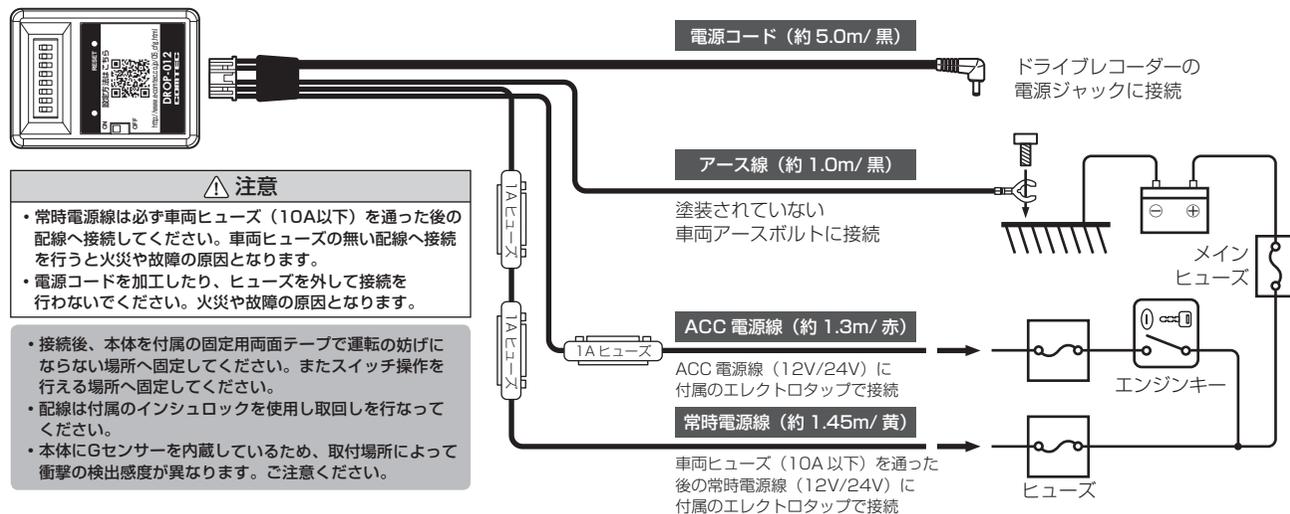
株式会社コムテック
http://www.e-comtec.co.jp
〒470-0206 愛知県あま市町生町下石田60番
コムテック サービスセンター **0800-200-5654**
※携帯電話・PHS・公衆電話・IP電話からは **0561-36-5654**
Ver2.0_317071B

商品説明

- 本製品を弊社ドライブレコーダーへ接続することで、駐車監視モード非搭載の機種でも車両キースイッチ OFF 後も電源供給を行い、録画を行うことができます。
- 本製品より電源を供給するため、ドライブレコーダー付属のシガープラグコードや直接配線コードを接続する必要はありません。
- バッテリー上がり防止のため車両バッテリーの電圧を監視し、電源供給を停止します。
- オフタイマー設定により電源供給時間を制限（最大 12 時間）することができます。また連続で電源供給をするだけでなく、間欠で電源供給を行うこともできます。
- 本体に G センサーを内蔵しているため、車両への衝撃により電源供給を開始します。

2 日以上使用しない場合は駐車監視・直接配線ユニットの電源スイッチを OFF にしてください。

接続概要図



注意

- 常時電源線は必ず車両ヒューズ（10A以下）を通った後の配線へ接続してください。車両ヒューズの無い配線へ接続を行うと火災や故障の原因となります。
- 電源コードを加工したり、ヒューズを外して接続を行わないでください。火災や故障の原因となります。

- 接続後、本体を付属の固定用両面テープで運転の妨げにならない場所へ固定してください。またスイッチ操作を行える場所へ固定してください。
- 配線は付属のインシュロックを使用し取回しを行なってください。
- 本体に G センサーを内蔵しているため、取付場所によって衝撃の検出感度が異なります。ご注意ください。

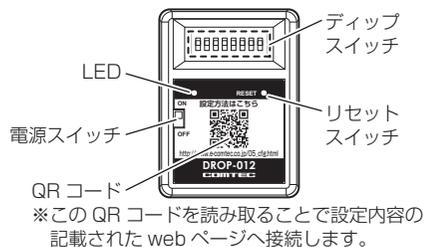
注意

- 本製品は弊社対応製品のみ接続することができます。その他の製品に接続した場合、故障、破損の原因となります。対応製品については弊社 HP をご確認ください。
- 本製品は車両の常時電源を使用するため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行なってください。
- 次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますのでご使用を控えてください。（毎日乗車しない・1 日の走行が 1 時間以下・車両バッテリーを 1 年以上使用している）
- 車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 運転の妨げにならないように取付けおよび配線の取回しを行なってください。
- 車両の機能（エアバッグや運転支援システムなど）に影響のない場所に取付けてください。
- DC-DR500/510 に接続する場合、ドライブレコーダー本体の駐車監視モードを OFF にしてください。
- 長時間録画を行う場合、microSDHC カードの容量やドライブレコーダーの設定により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。
- 電源を供給している間 microSDHC カードへ記録を続けるため、microSDHC カードの寿命が短くなります。あらかじめご了承ください。

セット内容

- ・駐車監視・直接配線ユニット（1 個）
- ・電源ケーブル（1 本）
- ・固定用両面テープ（1 枚）
- ・エレクトロタップ（2 個）
- ・インシュロック（3 本）
- ・取扱説明書（1 枚 / 本書）

各部名称



本製品の動作について

- ・車両キースイッチを ACC または ON 後に、車両キースイッチを OFF にすると、2 分間キャンセルタイマーが働き、その後動作を開始します。
※キャンセルタイマー中は動作を行いません。（衝撃の検出も行いません）
- ・車両キースイッチが OFF の状態で、本製品の電源スイッチを ON にしても動作を行いません。
- ・本製品の電源スイッチを OFF にしていても、車両キースイッチを ACC または ON にすれば電源供給を行います。
- ・駐車監視モード中に本製品の電源スイッチを OFF にすると駐車監視モードは終了します。

動作確認

- 1) 本製品を本書表面の接続概要図を参考に、弊社ドライブレコーダーへ接続後、車両キースイッチを ACC または ON にしてください。
- 2) ドライブレコーダーが正常に起動することを確認後、車両キースイッチを OFF にしてください。
- 3) 本製品の LED ランプが早い点滅（キャンセルタイマー）を繰り返した後、3 回早点滅に切り替わり駐車監視モードが開始します。

設定一覧

衝撃録画停止設定 ※DC-DR501/511 の駐車監視機能を使用する場合は設定しません。

衝撃を検出した際の動作を設定します。

- ・ ON …… 5 分間電源を供給し、駐車監視モードを終了します。
- ・ OFF …… 1 分間電源を供給し、駐車監視モードを継続します。

設定 OFF (1 : OFF)

設定 ON (1 : ON)

オフタイマー設定

- ・設定時間経過後、駐車監視モードを終了します。
- ・OFF に設定した場合、車両バッテリーの電圧が設定電圧に低下するまで駐車監視モードを継続します。

OFF (3 : OFF / 4 : OFF)

4 時間 (3 : OFF / 4 : ON)

8 時間 (3 : ON / 4 : OFF)

12 時間 (3 : ON / 4 : ON)

衝撃感度設定

※DC-DR501/511 の駐車監視機能を使用する場合は設定しません。

車両への衝撃を検出する感度を 4 段階から選択できます。

鈍感 (7 : OFF / 8 : OFF)

やや鈍感 (7 : OFF / 8 : ON)

やや敏感 (7 : ON / 8 : OFF)

敏感 (7 : ON / 8 : ON)

アドバイス

動作停止する際の優先順位

- 本製品は車両バッテリーの保護や記録映像の保護のために、各設定内容をもとに自動的に動作を停止します。動作を停止する場合、下記順の設定内容を優先して動作を停止します。
- ・停止電圧設定（車両のバッテリー電圧が設定値以下になると駐車監視ユニットの動作を停止します）
 - ・衝撃録画停止設定（設定をONにすることで、衝撃検出後5分間録画を行い、動作を停止します）
 - ・オフタイマー設定（設定時間経過後、動作を停止します）

LEDランプ確認表

LED ランプ(赤) 表示	本体動作	内容
消灯	動作停止中	本製品の動作を停止中
点灯	ACC ON	車両キースイッチが ACC または ON 中
0.5 秒点灯⇒0.5 秒消灯	キャンセルタイマー中	降車時の衝撃などで電源供給を行わない様に ACC OFF から 2 分間動作を行いません
3 回早点滅	連続動作中	連続動作中に表示
1 秒点灯⇒1 秒消灯	衝撃動作中	衝撃動作中に表示
1 秒点灯⇒3 秒消灯	間欠動作中	間欠動作中に表示

設定方法

本製品のディップスイッチを切り替えることにより、各種設定を変更できます。
※設定を変更する際は車両キースイッチを OFF の状態で行なってください。ACC または ON の状態で変更しても反映されません。



停止電圧設定

- ・車両バッテリーの電圧が、設定電圧を下回ると電源供給を停止し、駐車監視モードを終了します。
- ・車両電圧を認識し、自動で 12V/24V を切替えます。

12.2V/24.4V (2 : OFF)

11.8V/23.6V (2 : ON)

間欠動作設定

※DC-DR501/511 の駐車監視機能を使用する場合は設定しません。

- ・設定時間ごとに電源を供給します。また 1 回の電源供給時間は 1 分間固定となります。
- ・設定時間は電源供給時間の「1 分」を含みます。【5 分】の場合、4 分待機 + 1 分電源供給の合わせて 5 分となります。
- ※間欠動作中に衝撃を検出した場合は、衝撃による電源供給終了後、時間はリセットされ駐車監視モードを継続します。

OFF (5 : OFF / 6 : OFF)

5 分 (5 : OFF / 6 : ON)

15 分 (5 : ON / 6 : OFF)

30 分 (5 : ON / 6 : ON)

◆本製品は各設定を変更することにより、下記の4パターンの動作に設定することができます。

連続動作

オフタイマーで設定した時間の間、ドライブレコーダーへ電源を供給します。

衝撃動作

衝撃を検出した時に電源を供給します。
(衝撃検出前の録画はできません)

間欠動作

間欠動作設定の設定時間に応じて、1分間電源を供給します。また、電源供給前の記録は残りません。

OFF

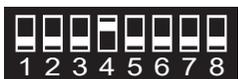
駐車監視ユニットの電源スイッチをOFFにすることで、駐車監視ユニットの動作を停止します。
また、駐車監視ユニットの電源スイッチをOFFにしても、車両のキー操作と連動して走行中にドライブレコーダーを使用することができます。
※立体駐車場等へ駐車した際、衝撃を検出しないよう駐車監視ユニットの電源スイッチをOFFにすることをおすすめします。

DC-DR501/511の駐車監視機能を使用する場合、下記設定例内  部の設定は行わないでください。
本体の駐車監視機能が正常に動作しなくなります。

連続動作設定例

連続動作 ①

衝撃録画停止設定	OFF
オフタイマー設定	4 時間
間欠動作設定	OFF



◆基本動作



動作内容

4 時間の間、本体へ電源を供給し続けます。

停止条件

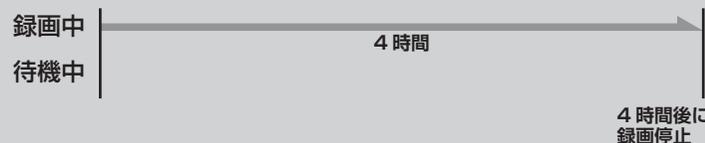
- ・設定した 4 時間を経過する
- ・バッテリー電圧が設定値以下になる

連続動作 ② ※DC-DR501/511 の駐車監視機能を使用する場合は設定しません。

衝撃録画停止設定	ON
オフタイマー設定	4 時間
間欠動作設定	OFF



◆基本動作



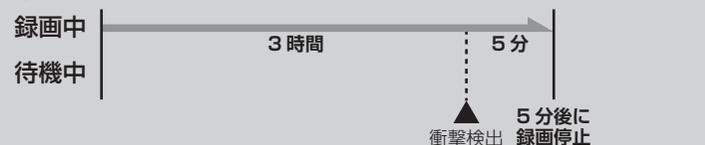
動作内容

4 時間の間、本体へ電源を供給し続けます。

停止条件

- ・衝撃を検出後、5 分経過する
- ・設定した 4 時間を経過する
- ・バッテリー電圧が設定値以下になる

◆3 時間経過した時点で衝撃を検出した場合



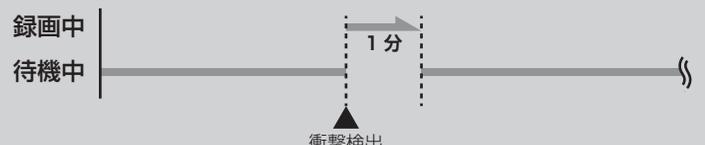
衝撃動作設定例 ※DC-DR501/511 の駐車監視機能を使用する場合は設定しません。

衝撃動作 ①

衝撃録画停止設定	OFF
オフタイマー設定	OFF
間欠動作設定	OFF



◆基本動作



動作内容

衝撃を検出した場合、1 分間本体へ電源を供給します。

停止条件

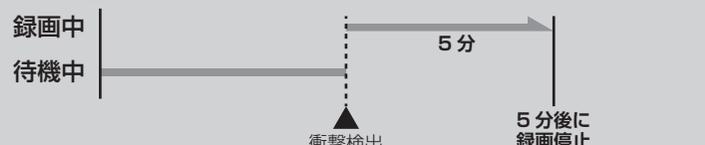
バッテリー電圧が設定値以下になる

衝撃動作 ②

衝撃録画停止設定	ON
オフタイマー設定	OFF
間欠動作設定	OFF



◆基本動作



動作内容

衝撃を検出した場合、5 分間本体へ電源を供給し、動作を停止します。

停止条件

- ・衝撃を検出後、5 分経過する
- ・バッテリー電圧が設定値以下になる

間欠動作設定例

※DC-DR501/511 の駐車監視機能を使用する場合は設定しません。

間欠動作 ①

衝撃録画停止設定	OFF
オフタイマー設定	OFF
間欠動作設定	5 分



動作内容

- ・4 分 + 1 分の間欠動作を繰り返します。
- ・衝撃を検出した場合は、1 分間電源供給を行なった後、間欠動作に戻ります。
- ※衝撃を検出した時点で間欠動作の時間は仕切り直します。

停止条件

バッテリー電圧が設定値以下になる

間欠動作 ②

衝撃録画停止設定	OFF
オフタイマー設定	4 時間
間欠動作設定	5 分



動作内容

- ・4 時間の間、4 分 + 1 分の間欠動作を繰り返します。
- ・衝撃を検出した場合は、1 分間電源供給を行なった後、間欠動作に戻ります。
- ※衝撃を検出した時点で間欠動作の時間は仕切り直します。

停止条件

- ・設定した 4 時間を経過する
- ・バッテリー電圧が設定値以下になる

間欠動作 ③

衝撃録画停止設定	ON
オフタイマー設定	OFF
間欠動作設定	5 分



動作内容

- ・4 分 + 1 分の間欠動作を繰り返します。
- ・衝撃を検出した場合、5 分間本体へ電源を供給し、動作を停止します。

停止条件

- ・衝撃を検出後、5 分経過する
- ・バッテリー電圧が設定値以下になる

間欠動作 ④

衝撃録画停止設定	ON
オフタイマー設定	4 時間
間欠動作設定	5 分



動作内容

- ・4 時間の間、4 分 + 1 分の間欠動作を繰り返します。
- ・衝撃を検出した場合、5 分間本体へ電源を供給し、動作を停止します。

停止条件

- ・衝撃を検出後、5 分経過する
- ・設定した 4 時間を経過する
- ・バッテリー電圧が設定値以下になる

◆基本動作



◆待機状態に戻った 2 分後に衝撃を検出した場合



◆基本動作



◆待機状態に戻った 2 分後に衝撃を検出した場合



◆基本動作



◆待機状態に戻った 2 分後に衝撃を検出した場合



◆基本動作



◆待機状態に戻った 2 分後に衝撃を検出した場合



DC-DR501/511 の駐車監視機能を使用する場合

■ディップスイッチの設定について

- ・ [1・5・6・7・8] はOFFに設定してください。それ以外の設定に変更を行うとDC-DR501/511の駐車監視機能が正常に動作しなくなります。
- ・ [2] の停止電圧設定はお車の状況に合わせ、設定を行なってください。
- ・ [3・4] は右記のお好み内容に合わせ、設定を行なってください。
- ・ 駐車監視モードの動作詳細については本体取扱説明書P56～P58をご確認ください。

●4 時間連続動作



●8 時間連続動作



●12 時間連続動作

